

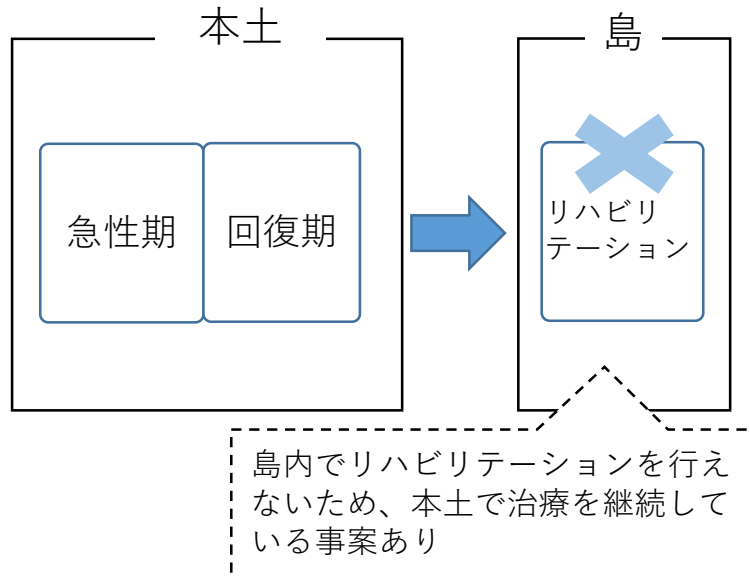
島しょ地域リハビリテーション提供体制モデル事業の実施検討（案）

- ・ 円滑な早期帰島に必要な連携体制や、島内でのリハビリテーションを実現するために必要な設備及び人材の確保策を検討すると共に、これらをより実践的に検証するためにモデル事業の実施を検討する。
- ・ 島内の体制が十分に整わないまま一足飛びに回復期リハビリテーションを島内で実施することは、逆に治療を長引かせることになりかねないため、体制整備に重点を置く。

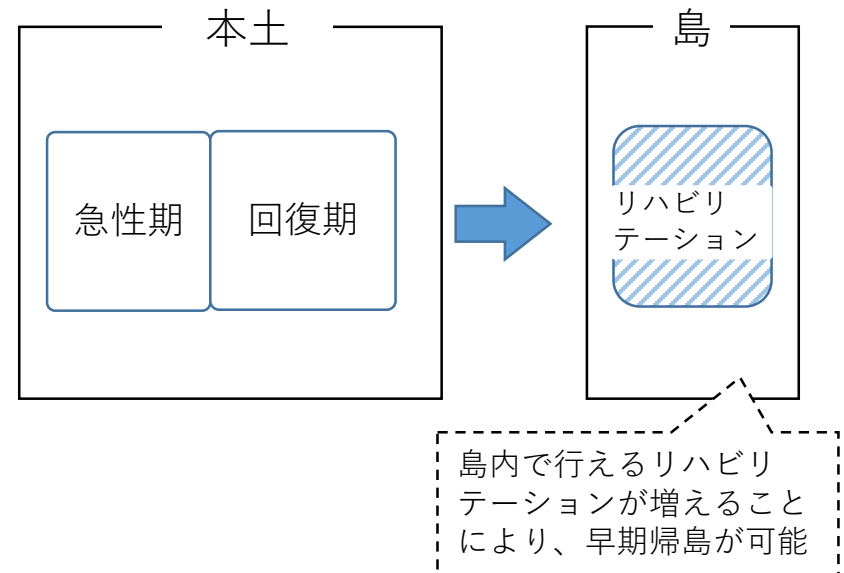
モデル事業の実施により目指すもの

- 【1】患者の早期帰島を実現するための円滑な連携体制の構築
- 【2】帰島後の患者の安心・安全なリハビリテーションの実施

現状



モデル事業



モデル事業の実施に向けた検討内容（案）

患者の早期帰島を実現するための円滑な在宅への移行

★ 関係機関による切れ目のない連携体制の構築

- Web連携会議の構築
 - ・ 定例会議（多職種参加、島しょ医療体制共有、リハビリに関する研修等）
- 回復期当初から帰島を目指した連携体制の強化
 - ・ 本人・家族も参加し、帰島後の生活環境も含めた調整

★ 島内でのリハビリテーションの実施（新たに取り組むもの）

- 対象とするリハビリテーション
 - ・ 回復期後の外来リハビリテーション
- 帰島可能な患者状態の確認
 - ・ ADL、家族状況
- 必要な設備
- 必要な人材など（遠隔による評価、指導、相談等を含む。）

} 選定医療機関による

【次回（7月8日(月)19時～）検討予定】

- 実施する医療機関の選定
- 事業の実施期間
- 実施に向けた課題整理
- 実施による効果検証の方法
- 人材確保策 等

検討結果を
東京都へき地医療
対策協議会に報告